

令和3年10月

各地域の皆様へ

公益社団法人日本観光振興協会

ワーケーションの導入促進についての現状調査について（予告）

ワーケーションは、2000年頃から労働環境の改善や社員の満足度向上を目的にアメリカで生まれたとされている。我が国においても新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延にともない「新しい働き方」の一つとして注目を浴びつつあるが、受け入れ側である地域と送り手側となる企業との間で意識のミスマッチがあり導入が進んだとは言えない状態である。

当協会としては、地域振興策に寄与するためワーケーションを広く普及させるため受け入れ側である地域の皆様の現状をヒアリングしオリジナルアンケートを作成、それをもって送り手側である企業の意向を調査し、その結果をフィードバックすることで受け手側、送り手側のワーケーション推進に向けた認識ギャップを顕在化させ、その解決策を模索する事が重要であることから、この度、当協会では日本全国に幅広いネットワークを持った近畿日本ツーリストコーポレートビジネス様と連携し、ワーケーション導入促進について現状調査パッケージを作りました。

この現状調査パッケージの特徴は、

1. 10万円というリーズナブルな価格で調査が可能
※日観振会員の方は、当協会が5万円負担します。（先着5組織程度）
2. ワケーション受入に興味のある地域の皆様へ、地域の課題・PRポイント等のヒアリングを行い受入地域毎にオリジナルアンケートの作成を行います。
3. 近畿日本ツーリスト様の顧客企業の内10社程度に対してオリジナルアンケートに基づき個別ヒアリングを実施します。（ヒアリングする企業様の指定はできかねますが、地域・業種について可能な限りご要望に添うよう対応します。）
4. ヒアリング結果をまとめて、地域の皆様へその結果をフィードバックしワーケーション受入に関する課題点を抽出します。

スケジュール

- 10月中旬 調査希望地域の募集
- 11月～12月 地域へのヒアリング、オリジナルアンケートの作成、企業へのヒアリング
- 1月～2月 企業ヒアリング結果の報告

なお、募集については、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス様より行います。準備が整い次第改めてご案内致します。

本件担当：

企画政策部門 波多腰（はたこし）・八代

TEL 03-6435-8332

Kikakuseisaku@nihon-kankou.or.jp